

第 5 号様式

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 工 学 ）	氏名	MOHAMMAD SOLTANIASL												
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 ・ 2 項該当														
<p>論 文 題 目</p> <p>Salt Flux, Salinity Intrusion and Estuarine Circulation in the Ota Diversion Channel (太田川放水路における塩分フラックス, 塩水遡上とエスチャリー循環に関する研究)</p>															
<p>論文審査担当者</p> <table> <tr> <td>主 査</td> <td>准教授</td> <td>川西 澄</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>金子 新</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>河原 能久</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>土井 康明</td> </tr> </table>				主 査	准教授	川西 澄	審査委員	教 授	金子 新	審査委員	教 授	河原 能久	審査委員	教 授	土井 康明
主 査	准教授	川西 澄													
審査委員	教 授	金子 新													
審査委員	教 授	河原 能久													
審査委員	教 授	土井 康明													
<p>〔論文審査の要旨〕</p> <p>本論文は、水門によって淡水流入と流動が制限されている太田川放水路の塩分輸送構造と塩水遡上、エスチャリー循環の実態を解明することを目的としている。潮汐が支配的な河口域は、非定常性と非一様性がともに強いため、従来の計測技術では現地観測が困難で、これまでに得られている流動と塩分輸送に関する知識は限られている。こうした中、学位申請者は新しい計測法により取得された長期観測データの解析と数値実験から、半日から年周期にわたる放水路内の塩分変動の実態を明らかにし、淡水流入量・潮差・風・平均河口水位が塩水遡上に与える影響を解明している。さらに、淡水流入を制限している水門によって、塩分輸送構造や塩分の鉛直混合状態が河口からの距離によって大きく異なることを明らかにしている。</p> <p>学位申請者によって明らかにされたこれらの知見は、水門が存在する河口域の環境を考える上で不可欠なもので、高い有用性を有している。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士（工学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>															

備考：審査の要旨は、1,500 字以内とする。